

0:未経験 1:一できない 2:指導があればできる 3:一人でできる

F. 呼吸・循環を整える技術 <small>註) チェックリスト呼吸編で代用</small>		0ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
29	酸素吸入療法中の管理(対象者の観察と指示量・加湿の確認など)	VIIA (P11)で確認				85.0
30	血液ガス分析データの解釈				90.5	32.0
31	気道内吸引の実施	VIIB (P11)で確認				81.5
32	ネブライザーの実施					86.4
33	呼吸理学療法				66.0	27.9
34	体温調節方法の選択(温罨法、冷罨法)					87.8
<b>G. 創傷管理技術</b>						
35	創傷(手術創を含む)処置の介助と観察				92.5	59.6
36	褥創の処置と観察				85.7	40.1
37	褥創の予防ケア	II (P13~14)で確認			93.9	68.0
38	滅菌物の取り扱いができる				97.3	72.8
<b>H. 与薬の技術</b>						
39	原理・原則に基づいた与薬(与薬までに少なくとも3回は患者名・指示内容と照合、複数で確認)	II~VII (P7・8・10)で確認				97.3
40	経口薬の与薬	VII (P10)で確認				89.8
41	外用薬の与薬(点眼・塗布・坐薬など)					93.9
42	皮下注射				77.6	71.2
43	皮内注射				19.1	11.6
44	筋肉内注射				74.8	63.3
45	静脈内注射の準備と介助				78.9	67.3
46	点滴静脈注射の準備と介助・管理	IIAB (P7)・III (P8)で確認				85.7
	ヘパリン生食ロックの実施	II C (P7)で確認				
47	中心静脈栄養の準備と介助・管理				74.0	46.6
48	輸液・シリンジポンプの準備と管理	IVABC (P8)で確認				84.4
49	輸血の種類、血液型、氏名の確認、取り扱い	V (P9)で確認			91.2	60.5
50	輸血中、輸血後の副作用の観察とバイタルサインの測定				85.7	66.0
51	抗生物質の用法と副作用についてのアセスメント				96.0	45.6
52	インスリンの種類、用法と副作用についてのアセスメント	C (P5)で確認			88.4	61.2
53	麻薬の主作用・副作用の観察、取り扱い	E (P6)で確認			88.3	37.9
54	向精神薬の主作用、副作用の観察、取り扱い				81.5	32.9
55	毒薬、劇薬の取り扱い				82.3	36.7
56	消毒薬の種類と作用、用途、取り扱い				95.9	39.7
<b>I. 救命救急処置技術</b>						
57	意識レベルの観察				81.0	55.1
58	呼吸状態の確認				88.4	67.3
59	脈拍の確認				87.8	76.1
60	気道確保				55.5	25.3
61	気管内挿管の準備と介助				41.8	8.2